

能登半島地震

被災地への募金を

お願いします  
稲枝中学校 生徒会

# ひこね市議会だより

第165号  
2024.5  
(令和6年)



## 支援の輪が広がっています

～稲枝中学校生徒会本部の皆さんが能登半島地震復興支援募金活動を実施されました～

令和6年2月定例会	
(2月26日～3月25日)	
● 2月定例会で決まったこと……	2～7
● 個人質問 ……………	9～19
● お知らせ ……………	8,19～20

インターネット中継は [彦根市議会](#) で検索



▲能登半島の復興を願い作成されたイルミネーションパネル

## 2月定例会の結果

### 2月定例会の結果

原案のとおり可決・承認 予算関係21件 条例関係23件  
 その他の議案 1件 委員会議案 1件  
 否決 意見書案 2件

### 2月定例会 議案の審議結果

会期：2月26日(月)～3月25日(月)

#### ■全員賛成で可決等した議案等

項目	番号	件名	
議案	1	専決処分につき承認を求めることについて(令和5年度(2023年度)彦根市一般会計補正予算(第8号))	
	2	専決処分につき承認を求めることについて(令和5年度(2023年度)彦根市一般会計補正予算(第9号))	
	5	令和6年度(2024年度)彦根市休日急病診療所事業特別会計予算	
	6	令和6年度(2024年度)彦根市農業集落排水事業特別会計予算	
	8	令和6年度(2024年度)彦根市後期高齢者医療事業特別会計予算	
	9	令和6年度(2024年度)彦根市病院事業会計予算	
	10	令和6年度(2024年度)彦根市水道事業会計予算	
	11	令和6年度(2024年度)彦根市下水道事業会計予算	
	12	彦根市上下水道事業審議会条例案	
	13	彦根市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用および特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例案	
	14	彦根市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例案	
	15	彦根市職員の給与に関する条例および彦根市病院事業職員の給与の種類および基準に関する条例の一部を改正する条例案	
	16	彦根市戸籍等に関する手数料条例の一部を改正する条例案	
	17	彦根市建築確認等に関する手数料条例の一部を改正する条例案	
	18	彦根市消防に関する手数料条例の一部を改正する条例案	
	19	彦根市立学校の設置に関する条例および彦根市職員定数条例の一部を改正する条例案	
	20	彦根市博物館の設置および管理に関する条例の一部を改正する条例案	
	21	彦根市城山観覧料徴収条例の一部を改正する条例案	
	22	彦根市特定教育・保育施設および特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案	
	23	彦根市営住宅の設置および管理に関する条例の一部を改正する条例案	
	24	彦根市国民健康保険条例の一部を改正する条例案	
	26	彦根市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備および運営に関する基準等を定める条例等の一部を改正する条例案	
	27	彦根市病院事業の設置等に関する条例等の一部を改正する条例案	
	28	彦根市漁港等管理条例および彦根市風致地区内における建築等の規制に関する条例の一部を改正する条例案	
	29	彦根市水道事業給水条例の一部を改正する条例案	
	30	彦根市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例案	
	31	昭和天皇の崩御に伴う職員の懲戒免除および職員の賠償責任に基づく債務の免除に関する条例を廃止する条例案	
	32	彦根市水泳場の設置および管理に関する条例を廃止する条例案	
	33	彦根市立児童遊園設置条例を廃止する条例案	
	34	市道路線の廃止および認定につき議決を求めることについて	
	35	令和5年度(2023年度)彦根市一般会計補正予算(第10号)	
	36	令和5年度(2023年度)彦根市国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)	
	37	令和5年度(2023年度)彦根市休日急病診療所事業特別会計補正予算(第1号)	
	38	令和5年度(2023年度)彦根市農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)	
	39	令和5年度(2023年度)彦根市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	
	40	令和5年度(2023年度)彦根市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	
	41	令和5年度(2023年度)彦根市病院事業会計補正予算(第3号)	
	42	令和5年度(2023年度)彦根市水道事業会計補正予算(第2号)	
	43	令和5年度(2023年度)彦根市下水道事業会計補正予算(第2号)	
	44	専決処分につき承認を求めることについて(彦根市市税条例の一部を改正する条例)	
	45	令和6年度(2024年度)彦根市一般会計補正予算(第1号)	
	委員会議案	1	地方自治法第180条議会の委任による専決処分事項の指定の一部を改正する議決案

#### ■議会に提出された報告

項目	番号	件名
報告	1~3	訴えの提起とみなされた支払督促の申立てに係る請求につき和解をすることについて
	4	和解をすることについて

2月定例会に提出された議案等の詳細についてはこちらから



議案一覧・議決結果



意見書・決議



■賛否が分かれた議案等

(○：賛成 ●：反対 ー：議長)

項目	番号	件名	結果	中川	角井	八橋	堀口	北川	小川	辻	長崎	伊藤	黒澤	疋田	和田	森田	戸崎	小川	矢吹	上杉	中野	馬場	林	奥野	森野	安澤	野村		
				睦子	英明	龍二	達也	元気	隆史	真理子	任男	容子	茂樹	穂子	一繁	充	克司	吉則	安子	正敏	正剛	和子	利幸	嘉己	克彦	勝	博雄		
議案	3	令和6年度(2024年度)彦根市一般会計予算	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	4	令和6年度(2024年度)彦根市国民健康保険事業特別会計予算	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	7	令和6年度(2024年度)彦根市介護保険事業特別会計予算	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	25	彦根市介護保険条例の一部を改正する条例案	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書	1	金権腐敗政治の一掃を求める意見書案	否決	○	○	○	○	○	●	○	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	
	2	物価上昇に見合う高齢基礎年金等の改善を求める意見書案	否決	○	○	●	●	●	○	○	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

このような討論がありました

討論の対象議案 議案第3号 令和6年度(2024年度)彦根市一般会計予算

賛成

執行部の苦心と工夫を感じたため賛成するが、財政難に関する執行部の対応指針が希薄と感じた。令和7年度以降の予算編成においては中期財政計画とリンクし、数年間を見通した上での単年度予算編成を望む。

予算編成での厳しい財政状況をふまえた不要不急事業の見直しや削減を行った苦勞に敬意を表しつつ、市民への影響を考慮し、補助金の廃止等についてはより丁寧な説明や段階的な対応を申し添えて賛成。

彦根市敬老行事開催補助金等、事業見直しで廃止とされた事業は、墓場に埋められたも同然で、復活を再考されることを願い、諸手を挙げたとは言えないが苦勞して編成された予算案に賛成。

財政が硬直化する中で、ふるさと納税返礼品やひこにゃん商品開発など自主財源増加を目指した事業等を提案された予算に賛成する。しかし、今後のさらなる民間活力の導入や公共施設管理の見直しを求めたい。

反対

人権問題の最重要課題を女性の人権問題と位置付けておらず、また経済効果の高いリフォーム事業を増やそうとせず、環境保全型農業を拡大するような市独自の支援策を打ち出していないため反対。

討論の対象議案 議案第4号 令和6年度(2024年度)彦根市国民健康保険事業特別会計予算  
議案第7号 令和6年度(2024年度)彦根市介護保険事業特別会計予算  
議案第25号 彦根市介護保険条例の一部を改正する条例案

反対

高い国保料が県内の保険料水準の統一化で値上げになる政府方針に対し、自治体として断固反対の立場を貫くべき。介護保険料も今回の見直しで上げられ、高い保険料を払い介護を望んでも対応ができない状況を生んでいる。制度の見直しと保険料の引き下げをすべきであることから反対。

討論の対象議案 意見書案第1号 金権腐敗政治の一掃を求める意見書案

賛成

過去に政治改革が行われたが、裏金問題は解決しておらず、政治不信と低投票率につながっている。裏金に関わった政治家の証人喚問を含め、根本的な改革が求められるため賛成。

討論の対象議案 意見書案第2号 物価上昇に見合う高齢基礎年金等の改善を求める意見書案

賛成

年金の削減は受給者にとっても地方財政においても大問題。年金支給額は今回も物価上昇に追いついていない。年金のみで生活している高齢者も将来年金を受給する若者も安心して老後を送れる内容であるため賛成。



## 当初予算の主な事業

「人権・多文化共生」、「健康・福祉・医療・生涯学習」の分野

### 福祉医療費助成事業

8億3,938万3千円

#### うち高校生世代までの医療費助成拡充分

1億2,470万7千円

令和6年4月診療分から、通院・入院ともに高校生世代まで対象を拡大するのに必要な経費です。



### コミュニティ・スクール推進事業

125万円

学校が地域の人々と目標を共有し、地域と一体となって子どもたちを育む「地域とともにある学校づくり」を目指すために必要な経費です。

「子育て・次世代育成・教育」の分野

### 施設型給付費等支給事業

30億9,894万1千円

子ども・子育て支援新制度に基づき、幼稚園・保育所・認定こども園を対象とする施設型給付や、小規模保育事業・事業所内保育事業等を対象とする地域型保育給付を行うために必要な経費です。



### 養育費支援事業

70万円

養育費確保の促進を図るため、養育費の取決めを行うひとり親に、養育費に関する公正証書作成等の債務名義取得に必要な経費に対して公正証書等作成費用補助金を引き続き交付するための経費です。

令和6年度から新たに弁護士等への相談に要する経費を補助対象とします。



「歴史・伝統・文化」、「観光・スポーツ」、「産業」の分野

特別史跡「彦根城跡」保存整備および維持管理事業	2億484万2千円
うち彦根城天守耐震補強工事関係	4,453万2千円
うち防災設備整備工事関係	1億4,998万5千円

特別史跡「彦根城跡」内にある国宝・重要文化財建造物の適切な維持管理と活用を図る目的で、彦根城天守の耐震補強工事および防災設備整備工事を行うために必要な経費です。

国スポ・障スポ大会準備経費 1億5,422万5千円

令和7年度の「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」（第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会）の開催に向け、令和6年度はリハーサル大会を開催し、令和7年度の本大会開催に向けた課題を抽出するなどの諸準備を着実に進めるため、実行委員会の準備経費を負担するための経費です。



▲リハーサル大会が行われる  
プロシードアリーナHIKONEメインアリーナ

「環境形成」、「都市基盤」、「安全・安心」の分野

ごみ焼却場整備事業 8億8,370万5千円

長寿命化計画に基づき、ごみ焼却施設の大規模修繕（令和3年度～令和6年度）を行うために必要となる経費です。

また、長寿命化工事期間中に生じた焼却しきれない可燃ごみの一部を外部搬出し、処理するために必要な経費です。

（主なもの）

- ・ごみ焼却場長寿命化改修工事 7億8,540万円
- ・ごみ焼却場長寿命化改修工事にかかる施工管理委託 1,821万6千円
- ・可燃ごみ外部搬出処理委託料 7,624万4千円



松原町大黒前鴨ノ巣線街路事業 6,438万9千円

「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」主会場へのアクセス道路として、また、隣接する城北幼稚園、城北小学校および近江高等学校への通園・通学路の安全対策として道路を改築するために必要な経費です。



▲令和6年度に点字タイルの敷設等が行われる松原町大黒前鴨ノ巣線

## 予算常任委員会

### 令和6年度の当初予算案を可決

予算常任委員会は3月8日(金)、11(月)、13(水)、19(火)、25(月)に委員会を開催し、21件の議案について慎重に審査しました。

#### 【審査】

- ・議案第1号、議案第2号、議案第3号、議案第4号、議案第5号、議案第6号、議案第7号、議案第8号、議案第9号、議案第10号、議案第11号、議案第35号、議案第36号、議案第37号、議案第38号、議案第39号、議案第40号、議案第41号、議案第42号、議案第43号、議案第45号

#### 【主な質疑】

- 議案第1号に対して
  - Q キャッシュレス決済ポイント還元事業の効果は。
  - A 12月1日から31日までの1か月間で、5億3,767万円分のポイントを付与した。これにより、24億948万円の消費があったと推定される。この結果、事業所や個人にとって大きな成果があったと考えている。
- 議案第3号に対して
  - Q 観光大使設置・推進事業の内容は。
  - A 観光大使にSNSやテレビ番組で彦根のPRをしてもらい彦根への関心を高めたいと考えている。また講演会形式のイベントを通じて、著名人に彦根城について話してもらい、彦根への興味を持ってもらいたい。
  - Q インバウンド推進事業の見込みは。
  - A 彦根に来られる外国人の人数は、令和4年が1万人程度、令和5年が、現時点で6万6,000

人ほど。令和元年は9万3,000人おられたのでその程度に戻るのではないかと考えている。

#### 【主な討論】

- 議案第3号に対して
  - 反対 子どもの医療費助成拡充は喜ばしいが、市民の暮らしに影響を与える予算の削減や中止があり、市民サービスを提供するための行政職員が不安定な収入のまま予算削減の対象となっている。巨額の国スポ・障スポへの予算投入や積み増しの事業は見直すべきであり、市民や職員の力を信頼し、外部に頼らず自ら努力することが必要であることから反対する。
  - 賛成 市債の返済で財政が厳しくなる中、収入が限られているため、予算編成は非常に厳しい。事業削減だけでは市民生活の向上はなく、民間活力の導入や経済の活性化が重要である。今後は、各種事務事業の見直しや彦根市公共施設等総合管理計画どおりの更新・維持が困難になるという指摘を真摯に受け止めた上で、予算編成をしていただきたいことを申し添えて、賛成する。

#### 【結果】

- ・議案はいずれも原案の通り可決

## 企画総務消防常任委員会

### 彦根市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例案等議案3件を可決

企画総務消防常任委員会は3月14日(木)に委員会を開催し、3件の議案について慎重に審査しました。

#### 【審査】

- ・議案第14号、議案第15号、議案第31号

#### 【主な質疑】

- 議案第14号に対して
  - Q 今回は育児休業に関する改正で、国は今後も様々な面で会計年度任用職員と正規職員との格差を縮める方向だが、市のスタンスは。
  - A 人事院勧告があり勤勉手当が支給されるので待遇差は段々なくなってきた。会計年度任用職員が多くを占めており、会計年度任用職員がいなくては行政も円滑に業務を進められない。今後も国の基準を見ながら必要な改善を進めていきたい。

- 議案第15号に対して
  - Q 在宅勤務手当とはどのようなものか。
  - A 国で新たに設けられた手当。在宅勤務を一定期間以上継続して、1か月当たり10日を超えて正規の勤務時間の全部を勤務することを命じられた職員に対して、在宅勤務手当を支給するもの。在宅勤務等に伴う光熱水費の費用負担が特に大きくなることを考慮して設けられた。
- 議案第31号に対して
  - Q 本条例の適用はあったのか。
  - A この条例の適用を受けた職員はいない。

#### 【結果】

- ・議案はいずれも原案のとおり可決

## 福祉病院教育常任委員会

### 彦根城博物館の設置および管理に関する条例の一部を改正する条例案等 議案4件を可決

福祉病院教育常任委員会は、3月15日(金)に委員会を開催し、4件の議案について慎重に審査しました。

#### 【審査】

- ・議案第19号、議案第20号、議案第25号、議案第33号

#### 【主な質疑】

- 議案第19号に対して
  - Q 市長部局へ異動する5人の内訳は。
  - A 園長1名、主任1名、クラス担任3名となる。
  - Q 他の状況は。
  - A 金城幼稚園の保育を引き継ぐ形で運営をお願いしているため、会計年度任用職員数名に金城こども園で働いていただく予定である。
- 議案第20号に対して
  - Q 彦根城博物館の観覧料の値上げは何年ぶりか。
  - A 平成4年7月1日以来31年ぶり。
  - Q この値上げでどれくらいの増収が図れるのか。
  - A 約1,500万円程度の増収が見込める。

#### ○議案第25号に対して

- Q 介護保険法に基づく高額介護サービス費等支払資金貸付事業が廃止となっているが、その理由は。
- A 10年以上、貸付実績がないので廃止とした。

#### ○議案第33号に対して

- Q 児童遊園のままでは不都合があるのか。
- A 都市計画課に所管替することにより、一元管理で効率化が図れる。

#### 【主な討論】

#### ○議案第25号に対して

- 反対 低い年金の高齢者が多く、異常とも言える物価高で、青息吐息で暮らしている。こんな時こそ減免すべきであることから反対する。

#### 【結果】

- ・議案はいずれも原案のとおり可決

## 市民産業建設常任委員会

### 議案はいずれも原案のとおり可決

市民産業建設常任委員会は、3月18日(月)委員会を開催し、5件の議案について慎重に審査しました。

#### 【審査】

- ・議案第12号、議案第17号、議案第21号、議案第32号、議案第34号

#### 【主な質疑】

- 議案第12号に対して
  - Q 水道料金の審議会条例が一本化した理由は。
  - A 上下水道事関連の3つの審議会・委員会を一本化し重要な事項の審議の効率化を図るためである。
- 議案第21号に対して
  - Q 金額を変更した根拠は。
  - A 国宝5城の天守をはじめとする全国のお城の観覧料を参考にした。
  - Q 鳳翔台(茶室)を半日、1日借りる必要性とは。
  - A 通常はお茶を飲んでいただくのが普通の使い方である。ただ映画の撮影で使ったり、団体がお客様を接待するために貸切りにしたい場合半日1日という使用期間になる。そのため料金設定になっている。

#### ○議案第32号に対して

- Q 2つの水泳場の閉鎖による影響はどのようなものがあるか。
- A 公設の水泳場は閉鎖するが、湖水浴をしてはいけないということではない。松原駐車場についても、夏場だけ利用できるような形を考えている。
- Q 松原駐車場の場所はどこで、何台利用できるのか。
- A お浜御殿の横、亀の井ホテルの前の土地である。普通車で70台利用できる。
- Q 管理棟は令和6年度中に解体されるのか。
- A 占用期間がまだ少しあり、その間に県と調整して、解体を行う。
- Q 閉鎖の周知方法は。
- A 丁寧に広報、ホームページ等で、周知する。初年度は案内表示も検討していく。

#### 【結果】

- ・議案はいずれも原案のとおり可決



議会改革特別委員会

協議項目を整理

議会改革特別委員会 協議項目

優先的に取り組む項目

- 政治倫理審査会のあり方やルールにかかる検討
- 議員定数にかかる検討
- 議員歳費の見直し
- 議会の動画を見てもらうための手法の検討

令和5年12月15日(金)に開催した委員会では、「協議項目の整理について」を議題として以下の3点について協議・決定しました。なお、変更後の協議項目は上記のとおりです。

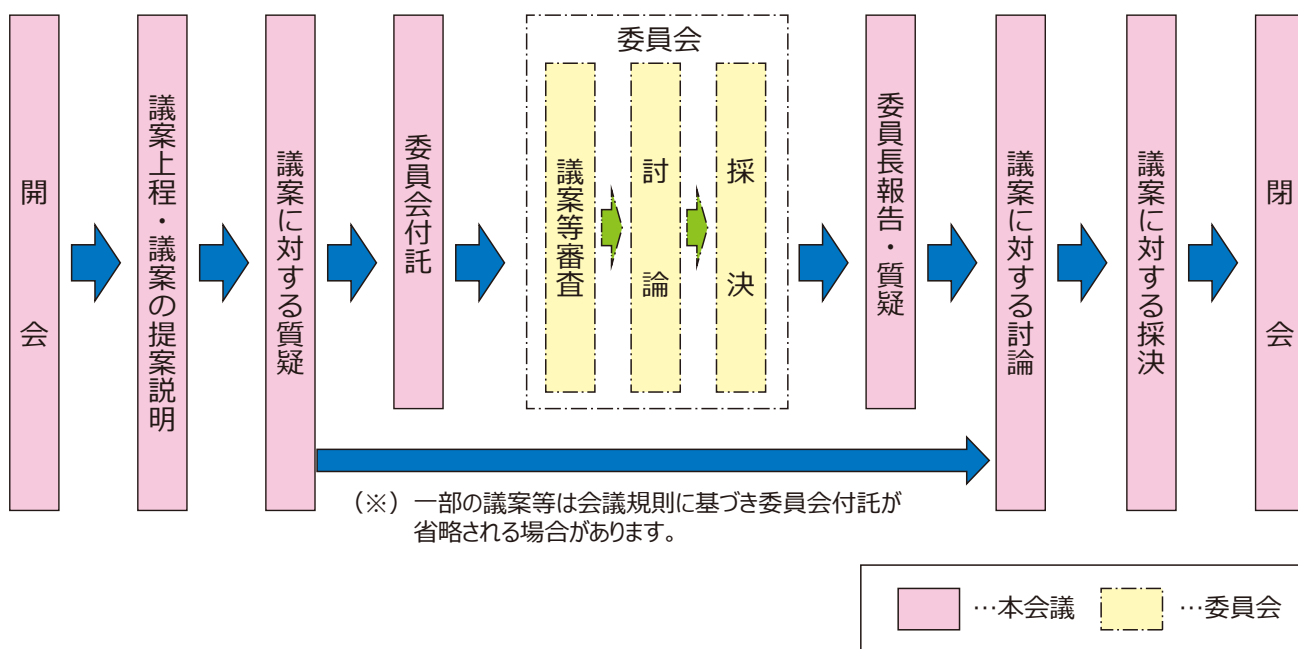
- ①「政治倫理審査会のあり方やルール、ハラスメント対策にかかる検討」の内の「ハラスメント対策にかかる検討」については、ハラスメントに係る議員研修会を今後も引き続いて実施することが望ましいと議長に報告の上、この部分のみ協議項目から削除
- ②「委員会中継を見ている市民にわかりやすい手法の検討」について、いかに市民に委員会の中継を見てもらうかということもあわせて協議していくべきであることから、この協議項目を「議会の動画を見てもらうための手法の検討」に修正することとし、議長に報告
- ③「議員間討議の活用」について、この項目は議会改革特別委員会の中でも長年にわたって議論されており、一定の実績もでてきていることから、今後は各議員が自発的に執り行うこととし、協議項目から削除することを議長に報告

議会ひとくちメモ 『議案審議の流れ』



定例会では概ね下記の流れで議案等が審議されます。

本会議は、議員全員で議案等を審議し、市議会の最終意思を決定するために開かれる会議で、委員会は、議案等を専門的、効率的に審査するため、議員の一部で構成されます。委員会には、常任委員会、議会運営委員会と特別委員会があります。





市政について  
質す!

## 2月定例会個人質問

20人の議員が、市政に対する一般質問を行いました

本会議では、事前申し込みによる手話通訳を実施しています。



### ライブ・録画配信の視聴について

本会議は、ライブ・録画配信ともに映像でご視聴いただけます。

また、常任委員会と特別委員会についても、ライブ配信を映像でご視聴いただけます。



配信については、左のQRコードまたは「彦根市議会インターネット映像配信」にてご覧ください。[\(https://www.hikone-city.stream.jfit.co.jp/\)](https://www.hikone-city.stream.jfit.co.jp/)

### 各議員の質問をQRコードから見る

各議員ページ右上のQRコードを読み取っていただくと、それぞれの議員の質問内容に関する録画映像配信ページにつながります。



安澤 勝議員

Q

滋賀県公立高等学校入学者選抜制度大綱一部改正の概要は

A

改正の概要は大きく4点示されている



#### その他の質問

- ・授業時間を5分短縮することのメリット・デメリットは
- ・降雪による休校判断の基準は
- ・市内主要道路整備の進捗状況は

Q 滋賀県公立高等学校入学者選抜制度大綱一部改正の概要は。

A 改正の概要は大きく4点示されている。1点目は選抜時期の一本化。2点目は学力検査の全員受検。3点目は学校独自型選抜の実施。4点目はWEB出願システムの導入。

Q 注目すべきポイントは。

A 今回の入学者選抜制度の改正で、生徒にとって大きな変更点は選抜時期の一本化と学力検査の全員受検と考える。現行の入学者選抜制度では、生徒が多様な選択肢から志望校を決定することができる一方、受検期間の長期化による負担の増加、特色選抜の受検倍率の高さから多数の生徒が不合格を経験すること、早期に入学許可予定者通知を受けた生徒の学習に対するモチベーションの維持の難しさ等が課題として挙げられる。



▲受検に向けての授業風景



小川 吉則議員

**Q** 福祉避難所とは

**A** 災害時「要配慮者」の方々に避難していただく施設となる



その他の質問

- ・介護人材の確保について
- ・養護学校について

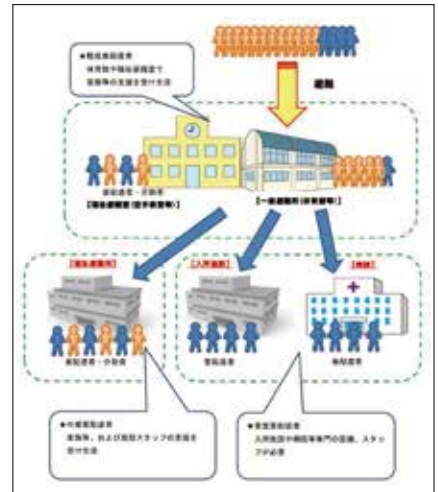
**Q** 福祉避難所とはどういったものか。

**A** 災害時、高齢者や障害のある人、乳幼児・妊産婦などの配慮を要する人が、避難生活が長期化する場合に設置するもの。

**Q** 福祉避難所に避難する人たちは様々な支援、介助が必要な人たちである。他市町や他府県の外部からの支援が必要となるが、福祉避難所への人員の支援体制はどのようになっているか。

**A** 職員等の人員に不足がある際は、施設にて取りまとめ市に要請してもらう。大規模災害時は、全国社会福祉協議会が主体となっている災害福祉支援ネットワーク中央センター等が、被災地域における社会福祉施設の生活の確保に取り組んでいる。

本市においても、こうした応援体制の支援を見ながら、関係機関と連携して体制整備に努めていきたい。



▲福祉避難所等の開設フロー図



中川 睦子議員

**Q** 「プロシードアリーナHIKONE」の案内板がわかりにくい。検討すべきでは

**A** 新たな図書館も併記した案内板を検討したい



その他の質問

- ・公教育は自治体が責任を持って行うべきでは
- ・老人福祉センターの今後の運営の方針は

**Q** 330台駐車可能なプロシードアリーナの駐車場の在り方は様々な場面を想定して検討すべきでは。

**A** 多数の来場者が見込まれる際には公共交通機関の利用や乗り合いを促し、民間企業の駐車場をお借りし対応したい。

**Q** 施設への案内板が小さく、入口がわかりにくい。検討すべきでは。

**A** 旧ひこね燦ばれすを新たな図書館として整備する際に、「図書館」と「プロシードアリーナHIKONE」の表示も併記した案内板の作成を検討したい。

**Q** 敷地への車の出入りは1か所です。状況によっては出入口が渋滞するのでは。出入口について図書館建設の時に、再度検討すべきでは。

**A** 案内板は、(仮称) 図書館中部館整備事業の中で検討する予定。また、施設へ多数の来場者が見込まれるイベントなどが重なる際は、事前に周知、対策を講じる。



▲『プロシードアリーナHIKONE』の案内板



伊藤 容子議員

**Q** 昨年3月の市の申入れの記述が音声記録とかい離がある。市の対応は

**A** 彦根市議会議員政治倫理審査会の審査対象案件の質問で、答える立場ではない



その他の質問

- ・金城こども園の周辺住民の交通安全確保について
- ・公文書の正確性と音声記録について

**Q** 公文書の作成後、記述内容と音声記録の相違が判明した場合、どう修正するのか。

**A** 働きかけに関する事案では、市の音声記録がある場合、公文書の記述に明確な誤りがあり、修正しなければならないと判断したとき、文書を修正する。

**Q** 令和5年3月の市から議会への申入れについて、私に関する記述内容が音声記録とかなりかい離がある。どう対応するべきか。

**A** 彦根市議会議員政治倫理審査会（政倫審）の審査の対象案件の質問で、答える立場ではない。

**Q** 公文書の正確性について質問しており、政倫審は関係ない。市長名で申入れた私に関する記述が、音声記録と大きく違うため、この公文書の記述につき音声記録を確認するべきでは。

**A** 政倫審の審査の対象案件の質問で、答える立場ではない。



▲行政機関 彦根市役所 公文書等が健全な民主主義の根幹を支える（「公文書等の管理に関する法律」から）



正田 菜穂子議員

**Q** 彦根市の消防団員を確保するためには

**A** 多様な事業、制度を活用し団員確保に引き続き取り組む



**Q** 消防団員数が減少している要因は。

**A** 若年人口の減少、被用者の増加、若年層の価値観の変化が主なものと認識している。

**Q** 消防職員と消防団員の役割の違いは何か。

**A** 常勤の消防職員は常に専門的な訓練を行い、装備も高度なものである。他方消防団は地元の細かな情報やネットワークを有している。このことから、現場においての活動内容は異なるが上下の関係ではなくあくまで協力関係にあり、共に活動するものである。

**Q** 消防団応援の店事業の認知度は。

**A** 県内666店舗の登録に対して市内では約40店舗であり認知度は高くないと考えている。

**Q** 応援の店認知度向上のための取組は。

**A** 市ホームページでの紹介、その他の広報活動を積極的に検討していきたいと考えている。



▲消防団員募集チラシ





馬場 和子議員

**Q** 児童生徒減少の見通しと  
学校施設の大規模改修費用は

**A** 児童生徒数は減少が想定され、  
改修費用は総額31億2千万円が必要



その他の質問

- ・能登半島地震後の対応（災害協定・備蓄品・避難所の課題・災害廃棄物等）
- ・賑わい創出の提案（銀座街活性化・市役所有効活用）

**Q** 彦根市でも児童生徒数の減少が予測されるが出生数からの推移と見通しは。

**A** 小学校就学児童数は令和5年度の5,973人に対し、令和11年度、4,827人と1,146人減少（約20%減）。中学校就学生徒数は同じく3,061人に対し、2,643人と418人減少（約14%減）の見通し。

**Q** 小学校の大規模改修の年次的な見通しと想定される費用は。

**A** 令和11年度までに9小学校で3～4年をかけて改修する年次計画で、総額31億2千万円を想定。厳しい財政状況も勘案しながら進めていきたい。

**Q** 統廃合や小中一貫校への移行の想定は。

**A** 学校の統廃合や再編の検討の着手時期であるが、学区は地域の核であり地域全体への影響も大きく、保護者や地域の方と丁寧に協議を進めたい。

学校名	小規模校～11		標準12～18		大規模校19～			
	R5 学級数	R11 学級数	学校名	R5 学級数	R11 学級数	学校名	R5 学級数	R11 学級数
城東	9	8	亀山	6	6			
城西	12	7	金城	19	14			
城北	11	8	鳥居本	6	6			
城南	20	19	河瀬	19	18			
平田	9	10	高宮	18	16			
佐和山	20	14	稲枝東	12	10			
旭森	22	19	稲枝西	6	6			
城陽	11	8	稲枝北	6	6			
若葉	6	6	合計	212	181			

▲小学校学級推移表（抜粋）



辻 真理子議員

**Q** 彦根市役所本庁舎耐震化整備事業  
等の市債返済額は

**A** 平成30年度から令和23年度の  
24年間で約130億円の見込み



**Q** 彦根市役所本庁舎耐震化整備事業等と彦根市スポーツ・文化交流センターにかかる市債の元利償還金額は。

**A** 平成30年度から令和23年度までの24年間で約130億円の見込み。

**Q** 厳しい財政でも彦根市の未来を明るくする事業は。

**A** 子どもの医療費助成を高校生世代まで拡充するとともに、ヤングケアラーが属する家庭に対して世帯訪問支援事業を新たに計上した。



▲国スポ関連施設等整備事業および庁舎耐震化整備事業の市債償還の推移（見込み）



戸崎 克司議員

**Q** 彦根市LINE公式アカウントの登録者数は

**A** 2月29日現在では33,890人の方に登録いただいている



その他の質問

- ・広報・SNSを通じた保育士の採用活動について
- ・広報・SNSを通じた福祉のしごとの採用活動について

**Q** 彦根市LINE公式アカウントリニューアルの目的は。

**A** アプリ「ひこまち」とLINEの機能を統合することで、一元的に情報を得られ、利便性の向上を図った。新たな機能も追加でき、市民サービスのさらなる向上を図ることも目的としている。

**Q** 彦根市LINE公式アカウントの受信者アンケートによる効果は。

**A** 情報発信の際、受信者アンケートの回答に基づき、その情報を必要とする方にターゲットを絞って配信を行っている。

**Q** SNSやHPの活用について、広報戦略課と各担当課のつながりは。

**A** 全職員に向けて情報共有を図るため、毎年「SNSを活用した情報発信および魅力発信」「ホームページの運用」についての研修を実施し、担当課のニーズを把握し、最適な方法を一緒に検討するなど随時、意見交換等も行っている。



▲彦根市LINE公式アカウント



中野 正剛議員

**Q** 彦根城天守にこどもファスト・トラックを導入しては

**A** まずは先進事例を研究していく



その他の質問

- ・ふるさと納税を利用した代理寄付について
- ・彦根市の避難所への水道管の耐震化はできているのか

**Q** こどもファスト・トラックについての彦根市の見解は。

**A** こどもファスト・トラックとは、公共施設などの受付において、妊婦や子ども連れの方を優先する取組で、本市も「こどもまんなか応援サポーター」として活動していくことを宣言している。なお、この取組は子ども・子育て世帯を対象とすることを重点的なメッセージとして示しているが、高齢者や障害者の方などへの配慮は引き続き行うもの。

**Q** 彦根城天守の混み具合はどうか。

**A** 観光シーズンにおいては、30分から最長で2時間程度の天守入場待ちが発生している。

**Q** 彦根城天守入口にこどもファスト・トラックの導入は必要ではないか。

**A** 彦根城においても混雑する観光シーズンに、この取組を進めることが有効かどうか、まずは先進事例を研究していく。



▲彦根城天守入口



八橋 龍二議員

**Q** 国スポ・障スポに関して  
これまでにかけた費用は

**A** 全体では約116億1,000万円



その他の質問

- ・国スポ・障スポに係る令和6年度予算について
- ・国と県と彦根市の負担割合について
- ・費用対効果について

**Q** 令和7年度に開催される国スポ・障スポに関してこれまでにかけた費用は。

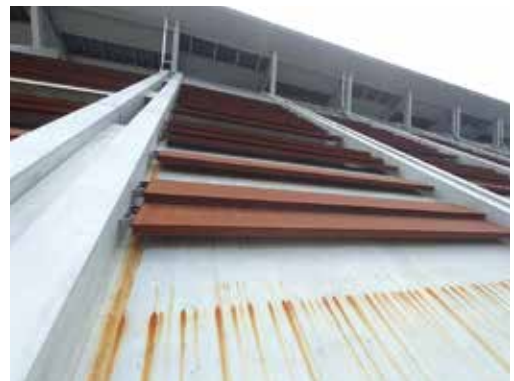
**A** 昨年度までの間に彦根市スポーツ・文化交流センターの建設に約85億9,000万円、同施設や主会場の周辺整備事業、金亀公園整備事業を含めると全体では約116億1,000万円である。

**Q** 平和堂H A T Oスタジアムの外壁は修繕しないのか。

**A** 施設管理者である滋賀県には現況を伝えてあり、今後、対策の要否を判断され必要に応じて対応される。

**Q** 開会式、閉会式の費用負担は。

**A** 開会式、閉会式については、滋賀県が全額負担されるので、彦根市が負担する予定はない。



▲外壁の修繕が待たれる  
平和堂H A T Oスタジアム外壁



奥野 嘉己議員

**Q** 救急車の不適正利用(タクシー代替、  
便利使用)を抑制するには

**A** 適正使用の広報を検討する



その他の質問

- ・能登半島地震を受けて、地域防災計画への提案、可搬式消防機器増設の検討
- ・市債発行への金利動向の検討

**Q** 救急車の出場回数増の中に、いわゆるタクシー代替使用、便利使用が含まれており、現場到着時間の遅れの原因の一つにもなっている。急病にかかる救急搬送の軽症者のうち、不適正利用と思われる件数は。

**A** 令和5年の急病搬送人員は4,241人で、軽症者は2,462人、そのうち救急隊が不適正利用と判断したケースは566件で軽症者の23%であった。

**Q** 現在、軽症者からは、法に基づき選定療養費を徴収していることを広報することによって便利使用の抑制は図れないか。このままでは病院での診療費支払い時のトラブル原因になりかねないのではないのか。

**A** 市立病院と消防本部で調整しながら広報に努める。



▲救急搬送の様子



小川 隆史議員

**Q** 本市の窓口業務時間の見直し状況は

**A** 現時点で前向きに検討を進めている



その他の質問

・地区公民館のコミュニティセンター化について

**Q** 午前8時半前および午後5時15分後の業務準備、後始末の時間はどう処理されているか。

**A** 所属長の事前命令による時間外勤務での対応を基本としている。

**Q** 窓口業務の通常処理に係る超過勤務額は。

**A** 書類確認等には複数の職員が必要。仮に対応に2名で毎日1時間を要したとすると、1所属、年間122万5千円の時間外勤務手当が生じる。



▲彦根市役所窓口業務

**Q** 本市ライフサービス課の窓口時間よりも短縮している他の都市はあるか。

**A** 大津市、川西市、安芸高田市は9時～17時、つくば市は8時45分～16時30分。滋賀県は試行的に実施中。

**Q** 窓口時間を短縮すれば、短縮時間で準備、後始末ができ、時間外勤務手当が削減できるか。

**A** 時間外勤務手当は押さえられると考えている。

**Q** 本市の窓口業務時間の見直し状況は。

**A** 現時点で前向きに検討を進めている。



矢吹 安子議員

**Q** 「おもてなし都市宣言」をすべきでは、その可能性や検討は

**A** 市民全体的の盛り上がりが必要で現時点では宣言する段階ではない



その他の質問

・良質な公共サービスの提供と労働者の生活を守るための「公契約条例」の制定は

**Q** 都市におけるおもてなしの根本は公衆トイレにあることから、彦根城周辺等の温水洗浄便座の設置状況は。

**A** 城周辺等の18施設の公衆トイレの洋式便器総数は84基、そのうち3分の2の56基が温水洗浄便座化している。

**Q** 老朽化した公衆トイレの改修予定の中、大手門の仮設トイレはどのように対応するのか。

**A** 世界遺産登録に向けて何らかの形で改修する等、文化庁や県と協議して、できるだけ前に進めるようにしていきたい。

**Q** 来年秋には国スポ・障スポの開催、来年春から秋には大阪・関西万博での経済効果が期待されている。彦根に今以上のお客様を受け入れるための「おもてなし都市宣言」をすべきでは。

**A** まずは、市民全体が観光客を受け入れるおもてなし意識の醸成が必要であり、行政からの「おもてなし宣言」が先ではないと考える。



▲大手門の仮設トイレ



堀口 達也議員

**Q** 子ども医療費助成の利用者の自己負担額は

**A** 小中高いずれの世代も自己負担無しの完全無償化を実現



その他の質問

- ・ヤングケアラーの支援拡充の変更点は
- ・保育士の配置基準の見直しによる影響は

**Q** 子ども医療費助成拡大の対象者数は。

**A** 中学生が2,841人、高校生世代が3,227人。

**Q** 子ども医療費助成の自己負担額は。

**A** 県内6市では小中高の各世代で入院・通院のいずれかで一部自己負担が発生するが、本市では令和6年4月より自己負担無しの完全無償化を実現する。

**Q** 精神障害者の医療費助成への見解は。

**A** 現在は助成対象が精神科通院のみだが、本市でも精神障害者保健福祉手帳1級および2級の一部の方を対象に令和6年度中に診療科を問わず医療費助成を拡大予定。

**Q** ヤングケアラー支援の想定件数は。

**A** 派遣対象は「出産からおおむね1年程度」から「家事・子育て等に対して不安や負担を抱える子育て家庭、妊産婦、ヤングケアラー等がいる家庭」へ支援拡充。令和6年度の想定件数は全体で13世帯。ヤングケアラーを含む家事支援は5世帯を想定。



黒澤 茂樹議員

**Q** 彦根総合地方卸売市場の現状は

**A** 市からの補助金を除くと1千万円以上の赤字になる



その他の質問

- ・超高齢社会における労働力人口不足への対応は
- ・超高齢社会における農業農村集落の維持に向けた対策は
- ・超高齢社会における空き家増加への対策等は

**Q** 彦根総合地方卸売市場とはどのようなものか。

**A** 県北部流通圏における生鮮食料品の拠点市場である。発行株式の51%を市が保有。市長が代表取締役社長に、市場長が取締役副社長に選任。本市の総務部長、企画振興部長、産業部長、地域経済振興課長が取締役、会計管理者が監査役に就任している。

**Q** 市場を利用する買受人減少の状況は。

**A** 平成24年度の買受人登録は382件であったが、令和4年度末では320件で、60件以上減少した状況。

**Q** 今後の見通しと対策は。

**A** 令和4年度における純利益は71万5千円だが、市の補助金1,290万3千円を除くと1千万円以上の赤字になる。今後、買受人の増加に努めるとともに、空き事務所や空きスペースの有効利用を進める。



▲彦根総合地方卸売市場





林 利幸議員

**Q** 稲枝駅西口へのアクセス道路の完成時期は

**A** 令和7年度の完成を目標に鋭意努力して取り組む



その他の質問

- ・「映画のまち・彦根」にかかる事業について
- ・事業見直しによって令和6年度中止、廃止、削減となった事業について

**Q** 令和5年度のJR稲枝駅周辺整備事業の実績は。

**A** 稲枝西口停車場線事業用地で未買収地となっていた土地を取得した。また既に取得済みの土地のうち約660㎡の埋蔵文化財調査を実施した。

**Q** 令和6年度の計画は。

**A** 事業用地として取得した土地のうち、残る860㎡の土地の埋蔵文化財調査を実施する。

**Q** 稲枝駅西口へのアクセス道路の完成時期は。

**A** アクセス道路となる稲部本庄線稲部工区、芹橋彦富線彦富工区、稲枝西口停車場線の3路線については、稲枝駅西口と主要地方道大津能登川長浜線を結ぶ区間として優先して整備を進めているところであり、令和7年度の完成を目標に鋭意努力して取り組んでいく。



▲稲枝駅西口へのアクセス道路の工場の状況



北川 元気議員

**Q** ふるさと納税10億円達成に対する評価は

**A** ひこにゃんグッズの開発に注力し、さらなる寄附増加を目指す



その他の質問

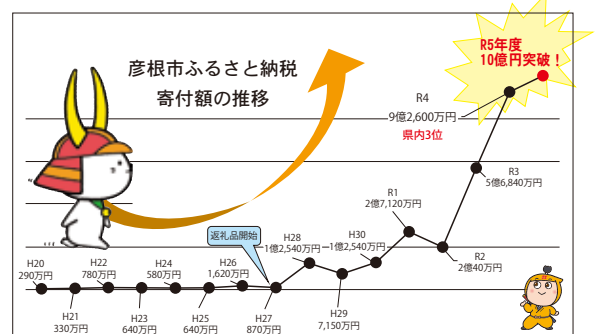
- ・ひこにゃんの活躍と新商品について
- ・Jリーグ誘致の取組について
- ・映画のまち彦根について

**Q** ふるさと納税10億円達成に対する評価は。

**A** 本市のふるさと納税寄附額が10億円を超えた。これまでの成長は、人気返礼品の導入やデジタルマーケティングの効果によるものである。今後は、寄附者のニーズに応える地場産品やひこにゃんグッズの開発に注力し、さらなる寄附増加を目指す。

**Q** 目標20億円に向けたさらなる取組は。

**A** 新たな返礼品の開発と既存返礼品のPR強化に注力したい。電動歯ブラシやアルカリイオン整水器の提供を開始したほか、「ひこにゃん」関連ヒット商品の開発や、コラボ商品等も検討している。また、返礼品の写真加工やキャッチフレーズを工夫し、寄附額の増加に努め、寄附者ニーズの変化に迅速に対応し、返礼品開発やPRに取り組む。



▲彦根市ふるさと納税寄附額の推移





野村 博雄議員

**Q** 通学路の安全確保や交通事故発生箇所、川の付け替えの影響への対策は

**A** 関係機関や地域と連携し改善に向け一層取組を進める



その他の質問

- ・活動の継続に苦慮する地域の各種団体へのサポート等について
- ・除雪時の雪の置き場について
- ・JRの駅の駅員不在等について

**Q** 通学路の安全確保は十分か。

**A** 子どもの移動経路交通安全プログラム等、警察や各校・園、地域の関係者等とも連携し、今後も一層対策に取り組む。

**Q** 管理不全で危険な空き家への対策は十分か。

**A** 是正指導を行うと共に、職員がパトロールし状況に応じて緊急安全措置をとる等でき得る対応を更に推進する。

**Q** 交通事故発生箇所への再発防止策は十分か。

**A** 関係機関と連携し道路環境整備等も行い対策を推進していく。

**Q** 宅地開発による川の付け替えで住環境に悪影響が出た場合等の対応は十分か。

**A** 従前の機能に支障がないよう開発事業者が計画し、完了検査で確認しているが、住環境への悪影響が生じるような状況が確認できる場合には、丁寧に地域の方と協議をし、改善に向けて取組を進める。



▲宅地開発により付け替えが行われた河川



角井 英明議員

**Q** 地域経済対策リフォーム事業は拡大すべきでは

**A** 財政状況が厳しく前年度と同程度の予算とした



その他の質問

- ・「国スポ・障スポ大会準備経費」は高額であり、見直すべきでは
- ・家庭系燃やすごみの組成分析調査の詳細は

**Q** 省エネ対策工事がリフォーム事業の対象になったのはいつからか。

**A** 平成24年度から補助対象としている。

**Q** 省エネ対策工事の年度ごとの実績は。

**A** 令和3年度は39件補助金額277万3千円、令和4年度は24件180万9千円、令和5年度は1月末現在42件312万6千円。

**Q** どのように周知してきたか。

**A** ホームページや広報、彦根商工会議所の会報誌「不易流行」のほか、リフォーム工事を請け負った実績のある事業者に対して資料を送付する等、PRに努めてきた。

**Q** CO<sub>2</sub>削減、地球沸騰化対策、事業者の育成、循環型地域経済の確立等、多面的な役割を持つリフォーム事業は拡大すべきでは。

**A** 地域経済の活性化や省エネ対策、事業者育成の観点から重要な施策と考えるが、財政状況が非常に厳しいことから、前年度と同程度の額を計上している。



和田 一繁議員

**Q** こどもの居場所づくりに対して市の見解は

**A** 活動団体や支援機関・地域と、必要に応じ連携や協働を図っていく



#### その他の質問

- ・わたSHIGA輝く国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会について
- ・玄宮楽々園の保存整備計画について

**Q** こどもの居場所づくりに対して市の見解は。

**A** 令和5年12月末時点で28か所のこどもの居場所が開設されている。

しかしながら、活動地域に偏りもあり、地域ニーズに応じた居場所の開拓については、引き続き検討していく必要がある。

市内に開設されているこどもの居場所については、子ども食堂や学びの場など、実施団体への支援を目的に、事業の立ち上げから軌道に乗るまでの3年間を限度として、活動団体への助成金の交付を行っている。4年目以降は活動団体の自主財源により運営していただいている。

本市の限られた財源ではあるが、事業精査を行いながら、今後も「子ども第三の居場所」を含むその他の活動団体や支援機関・地域と、必要に応じ連携や協働を図っていく。



▲花しょうぶ通りにある『子ども第三の居場所』

## 議会運営委員会による先進地視察報告

### 1 1/16(火) 神奈川県藤沢市「オンライン委員会、タブレット端末の活用について」

藤沢市議会ではコロナ禍等の対応策としてオンライン委員会を開催できるように委員会条例を改正され、実際にオンライン委員会を開催されています。オンライン委員会では、委員や市職員もオンライン出席が可能となっていますが、タブレット端末の小さな画面での確認や通信障害への対応が課題となっているとのことでした。

また、タブレット端末の活用では、ペーパーレス化効果や職員の負担軽減が図れたとのことでした。

本市においては、タブレット端末を導入し、ペーパーレス化を進めてきたが紙削減の余地はまだあり、今後議論を進めていく必要があると感じました。



### 2 1/17(水) 愛知県半田市「ICTの活用および本会議にかかる議会運営について」



半田市ではICT化の目的を「開かれた議会の推進」とし、市民の声を「聴く」機会や議会の議論を市民に「伝える」ことを大切にされていました。

議員の一般質問に関しては、質問方式を総括方式と1問1答方式から選択することができるようになっており、代表質問に関しては市長の施政方針に対する質問を行う形となっていました。

彦根市での代表質問については一考の余地があり、今後も他市町の代表質問等について研究を行っていきたいと感じました。

## 議員研修会に参加しました

### ○彦根・愛知・犬上市町議会議長会議員研修会

令和5年12月27日(水)

午後2時～午後3時30分

甲良町公民館で開催された議員研修会に、周辺4町（愛知郡愛荘町、犬上郡豊郷町、甲良町、多賀町）の議員と共に参加しました。

「“DXな世の中”にどう対峙すべきか—スマートで豊かな地域の実現と議会・議員の役割—」と題して、株式会社日本総合研究所シニアマネージャー(当時)彦根市特別顧問 丸山 武志氏にご講演いただきました。



### ○滋賀県市議会議長会定例議員研修会

令和6年1月23日(火)

午後2時～午後4時

ひこね市文化プラザ グランドホールで開催された滋賀県市議会議長会定例議員研修会に参加しました。

「流動化する日本政治の行方 ～時代の転換期を見つめる～」と題して、政治アナリスト 伊藤 惇夫氏にご講演いただきました。



## 組織改編のお知らせ

議員の議会における活動および議会改革の取組等、議会の機能発揮を支える事務局の体制強化を図るため、令和6年4月1日付けで議会事務局内に「議会課」を設置しました。

議会事務局は、今後とも議会運営や議員の議会活動を支えることをとおして、彦根市民の皆さまの福祉の増進に寄与できるよう努めてまいります。



次の定例会は  
**6月です**

### ぜひ傍聴にお越しください。

いつでも簡易な手続きで傍聴ができますのでぜひお越しください。

議場・委員会室ともに彦根市役所本庁舎5階にあります。

議場は定員45人、委員会室は定員9人です。本会議・委員会の傍聴の仕方

- ①議会課（本庁舎5階）で「傍聴人受付簿」に住所やお名前等をご記入ください。
- ②傍聴者用の議案書、アンケート用紙、名札を受け取り議場または委員会室へ
- ③お帰りの際、アンケートにご協力ください。

### 本会議・委員会の日程（予定）

月 日	内 容	時 刻
6月10日(月)	開 会	9:00
6月17日(月)	個人質問	9:00
6月18日(火)		
6月19日(水)		
6月21日(金)	予 算 常 任 委 員 会	9:30
6月24日(月)	福祉病院教育常任委員会	9:30
6月25日(火)	市民産業建設常任委員会	9:30
6月26日(水)	企画総務消防常任委員会	9:30
7月1日(月)	閉 会	9:00